【mFOLFOX6+BV療法について】

（フルオロウラシル＋レボホリナート＋エルプラット＋ベバシズマブ）

様

1 コース目

お薬の名前と治療のスケジュール（副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目 10/19 火	2 10/20 水	3 10/21 木	4 10/22 金	5 10/23 土	6 10/24 日	7 10/25 月	8 10/26 火	9 10/27 水	10 10/28 木	11 10/29 金	12 10/30 土	13 10/31 日	14 11/1 月	15 11/2 火	16 11/3 水	17 11/4 木	18 11/5 金	19 11/6 土	20 11/7 日	21 11/8 月	22 11/9 火	23 11/10 水	24 11/11 木	25 11/12 金	26 11/13 土	27 11/14 日	28 11/15 月	1日目 11/16 火
アルプラゾラム錠0.4mg	安定剤です	前処置		1錠													1錠													
パロノセトロンバック デキサート注	0.75mg/50mL 9.9mg	30分																												
ベバシズマブ注	5mg/kg	90分		2回目から点滴時間が短くなることがあります。(30分)																										
エルプラット注	85mg/m²	2時間																												
レボホリナート注	200mg/m²	2時間																												
フルオロウラシル注	400mg/m²	約5分																												
フルオロウラシル注（持続）	2400mg/m²	46時間																												
デカドロン錠	吐き気止めです	朝・昼　内服				1回1錠														1回1錠										
ナウゼリン錠	吐き気止めです	毎食前　内服					1回1錠														1回1錠									
アルプラゾラム錠0.4mg	安定剤です	朝・夕　内服					1回1錠														1回1錠									

この週は
お休みです。

この週は
お休みです。

治療による副作用

：注意が必要な時期

		1日目 10/19 火	2 10/20 水	3 10/21 木	4 10/22 金	5 10/23 土	6 10/24 日	7 10/25 月	8 10/26 火	9 10/27 水	10 10/28 木	11 10/29 金	12 10/30 土	13 10/31 日	14 11/1 月	15 11/2 火	16 11/3 水	17 11/4 木	18 11/5 金	19 11/6 土	20 11/7 日	21 11/8 月	22 11/9 火	23 11/10 水	24 11/11 木	25 11/12 金	26 11/13 土	27 11/14 日	28 11/15 月	1日目 11/16 火
自覚症状	過敏症																													
		痒みや顔のほてり、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																												
	食欲不振・吐き気																													
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																												
	手足のしびれ																													
		手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。冷たい物に触れないようにしましょう。																												
	口内炎																													
		口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかり行いましょう。																												
	色素沈着																													
		肌が黒ずむことがあります。長袖や帽子などを用いて、日光など紫外線には注意してください。																												
	脱毛（頭髪・まつ毛・眉毛など）																													
		髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																												
検査値	白血球減少																													
		感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																												
	赤血球減少(貧血)																													
		貧血の症状（めまい・ふらつき）がでたりします。転倒に注意しましょう。																												
	血小板減少																													
		出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																												
	肝機能低下																													
		体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなることがあります。																												

以下の副作用は、起こりやすい時期はわかっていませんが、早めの対応が必要な副作用です。気づいたことがあればお知らせください。

●血圧上昇　●出血（鼻血など）　●タンパク尿　●胃腸穿孔（下痢や腹痛が続く、激しい腹痛など）　●傷の治りが遅い

●血栓・塞栓（足が腫れたり痛む、息苦しい、胸痛、片側のまひ、言葉がうまく出ない、気分が悪い、めまいなど）

＊注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
＊上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
＊それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
＊何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

38度以上の熱や空咳がでたら当院に連絡してください
0898-23-2000

今治第一病院　薬剤部